



## 瑞宝中綬章 (通産行政事務功労)

つのだ よしすえ  
角田 芳末

### 学歴・職歴

昭和 45 年 群馬大学工学部電子工学科 卒業  
昭和 47 年 東北大学大学院電子工学専攻 修士課程修了  
昭和 47 年 4 月 特許庁入庁 (審査第五部電子応用)  
昭和 51 年 4 月 特許庁審査第五部審査官 (映像機器)  
昭和 55 年 6 月 科学技術庁振興局管理課情報室長補佐  
昭和 59 年 8 月 通商産業省機械情報産業局総務課ソフトウェア保護制度審議室  
昭和 63 年 10 月 特許庁総務部特許情報企画課課長補佐  
平成 2 年 1 月 特許庁審判官 (第 15 部門)  
平成 4 年 4 月 工業技術院ニューサンシャイン計画推進本部研究開発官  
平成 6 年 4 月 特許庁審査第五部上席総括審査官 (情報記録)  
平成 7 年 7 月 特許庁総務部特許情報管理室長  
平成 9 年 1 月 特許庁審査第五部上席審査長 (映像機器)  
平成 10 年 10 月 特許庁審査第五部首席審査長 (計算機応用)  
平成 12 年 9 月 特許庁審査第五部長  
平成 13 年 1 月 特許庁特許審査第四部長 (機構改革に伴う名称変更)  
平成 14 年 4 月 特許庁退官  
平成 14 年 4 月 信友国際特許事務所 所長  
(現在) 特許業務法人信友国際特許事務所 所長

### 弁理士会歴

平成 14 年 弁理士登録 (12288 号)  
平成 19 年度 産業競争力推進委員会 副委員長

### 公職

発明協会知財研修講師, 群馬大学非常勤講師, 筑波大学非常勤講師他を歴任

### 受章に浴して

研究者なることを夢見ていた私が特許庁に入ったのが 45 年前です。当時の特許庁は今と違って人気のないお役所で比較的入りやすいところでした。国の複数の研究所を受験したものの全て落とされ、特許庁だけが私を救ってくれました。「ええ、特許庁へ行くの？」と驚いたように言った友人の言葉が今も思い出されます。とにかく、飯を食わねばならないと思い、他の選択肢は考えられませんでした。

しかし、いざ、特許の審査をしてみると、これが面白い。自分には研究よりも特許の審査の方が向いていると思いました。もちろんそう思えるには多少の時間がかかりましたが、現在弁理士として曲がりなりにも仕事ができていることを考えると、あのとき躊躇しないで特許庁の門を叩いたことは最善の道だったと思っています。

「どんな仕事でも一生懸命やれば面白くなる」。これは私が特許庁審査官として、また科学技術庁、経済産業省、特許庁総務部での仕事をしてきて実際に感じていることです。

30 年の役人生活では、多くの人との出会いがあり、薫陶も受けました。今こうしてられるのも、ご指導いただいた上司や先輩の方々のお陰であると感謝しています。

弁理士になってからは、お客様の利益を第一に考えるようになりました。また、経営者として、所員の幸せも考えなければなりません。そんな葛藤の中で、日々仕事をしております。

この度、畏れ多いことに、叙勲を受けることになりました。これも特許庁を始め、今まで私を導いてくれた多くの方々のお陰であると思っております。

古希を迎えても、やりたいことが多くありますが、残された時間を考えると、余り欲はかけません。これからは、できる範囲で仕事を楽しみ、また趣味を楽しみながら、変化の激しいAI時代をもう少し見てみたいというのが現在の偽らざる心境です。